

## 2024年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2024年8月26日（月）10時00分～10時30分
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局局長（DX担当）、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、企画調整局政策課課長（データ利活用担当）、企画調整局デジタル戦略部長、行財政局長、行財政局副局長
議題	神戸市のEBPM推進戦略
提案概要	<p>○神戸市役所は、EBPM・DXの分野で多くの成果を上げており、データ利活用の取組を進めることは、市役所内の政策の質向上や業務改革、施策検討に役立つのみならず、「データ・デジタル先進都市」としての都市の魅力向上、市役所内部にとどまらない人材の育成や集積、データを活用して価値を生みだそうとする企業の集積につながる可能性があることから、以下について提案し、議論した。</p> <p>&lt;データ利活用方針及びデータ利活用ガイドラインの策定&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・他都市も方針やガイドラインを定め、データ利活用に関する体制を強化している。神戸市も方針を定め、次のステップに進む必要がある。</li><li>・全庁でデータ利活用を推進するというコンセンサスとデータ利活用のためのルールに基づき、データマネジメントを開始する必要がある。</li></ul> <p>&lt;全庁においてデータ利活用を積極的に推進するための体制の確保&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・システム標準化などにより、蓄積されるデータは確実に増加していく中、データを分析しやすいように加工し、適正な管理を行うデータエンジニアが必要である。</li><li>・データエンジニアは、外部人材の採用が困難なため、内部で計画的に配置し、育成する必要がある。</li><li>・全庁においてデータ利活用を推進するために各局政策部門の体制強化が必要である。</li></ul>

<p>会議結果 (主な意見 等を含む)</p>	<p>EBPM が進んでいる実績がすでにあり、全体の方針を決めてさらに推進していく方向性については了。</p> <p>○今後の検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少により職員数の減少も見込まれるなか、体制の強化については、具体的な業務内容や業務量を精査する必要がある。</li><li>・すでに成果が出ているダッシュボードを使った業務マネジメントは、横展開を検討するとともに、審査業務の自動化など、データを使った業務改革も検討する。</li><li>・データを集めにくい分野や区役所などもフォローし、データ利活用について全体的な底上げを検討する。</li></ul>
---------------------------------	---